特色ある教育活動

① 小中連携教育研究協力校の実践をもとに「武蔵野市民科」に取り組む。その中で、地域コーディネーターを活用して地域の教育資源を生かした教育の充実に努め、児童が地域社会と積極的に関わり、他者と協力し行動する資質や能力、態度を身に付けさせる。

② 自校給食の特色を生かして、望ましい栄養や食事のとり方を理解させるとともに、食物を大事にする気持ちや生産や調理に関わる人への感謝の気持ちを育てる。また地域の方々や保護者の方々を招き、ランチランドで共に食事をしながら交流を深め、地域への所属意識や感謝の気持ちを育む。

③ 教職員が特別支援教育及び、けやき学級との交流や共同学習の意義について共通理解し推進することで一人一人の児童のよりよい発達を目指す。また、障害に対する理解と認識を深め、相手の立場や思いを理解し、ともに生きようとする態度を育てる。

④ 保健指導等の健康教育を、武蔵野赤十字病院や家庭、地域と連携しながら計画的に実施することで、心と体の健康についての関心や理解を深め、望ましい生活習慣における自己管理能力を育成する。

⑤ 自然ガーデン（学校ビオトープ）や学校園等、身近な自然を学習活動の中で積極的に活用し、自然や環境に対する理解を深めるとともに、自然に親しみ、自然を愛し、自然を守ろうとする態度を養う。

⑥ 毎週水曜日の中休み時間を「外遊び」の時間とし、全校児童が外遊びをする。また、一校一取組通して体育朝会を計画的に実施したり、児童による運動委員会が中心となったスポーツ旬間などの取組を行ったりすることで、楽しく体を動かす機会を充実させ体力の向上を図る。

⑦ 市立図書館との連携や学校図書館サポーター、保護者による金曜日の読み聞かせ活動等により、読書環境の整備と充実を図る。また、調べ学習等においては、図書資料やコンピュータを積極的に活用する。